

10月給食だより

令和4年9月29日
江戸川区立瑞江第三中学校

秋らしくなってきました。お米に野菜、果物、魚など、日本の食卓に欠かせない多くの食べ物が旬を迎える季節です。「旬」とは、その食べ物がたくさんとれる上に、一年のうちで最もおいしく、栄養価も高くなる時期のことです。いろいろな食材が一年中手に入る時期ではありますが、季節ならではのおいしさを味わい、収穫の秋を感じたいですね。

大切にしたい もったいないの心

「もったいない」という言葉には、物を最後まで大切に使う、食べ物を残さず食べるといった、日本人が昔から大切にしてきた心が詰まっています。ところが近年、まだ食べることができる食品を捨ててしまう「食品ロス」が問題となっており、2020（令和2）年度は約522万tと推計されています*1。

これは、世界の食料支援量（2020年で年間約420万t*2）

の1.2倍に相当し、日本人1人当たり、おにぎり1個分（約113g）の食べ物を毎日捨てていることになります。

10月は国が定める「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。給食委員会では、食べ残しを減らすポスターコンクールを行い、また、食品ロスについて調べ、掲示物を作成しました。

10月29日は「みんなの給食（SDGs給食）」です。「もったいない」の心を大切に、食べてもらいたいです。

※1：農林水産省及び環境省「令和2年度推計」
※2：国連WFPによる食料支援



掲示物作成中



ポスターコンクール



1年生



2年生



3年生